【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年11月6日(2023.11.6)

【国際公開番号】WO2021/140875
【出願番号】特願2021-569808(P2021-569808)
【国際特許分類】
C09D201/00(2006.01)
C09D175/14(2006.01)
C09D 7/63(2018.01)
B05D 7/24(2006.01)
B05D 3/02(2006.01)
B32B 27/40(2006.01)
B32B 27/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ２０１/００
Ｃ０９Ｄ１７５/１４
Ｃ０９Ｄ ７/６３
Ｂ０５Ｄ ７/２４ ３０１Ｔ
Ｂ０５Ｄ ３/０２ Ｃ
Ｂ３２Ｂ ２７/４０
Ｂ３２Ｂ ２７/３０ Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月25日(2023.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ｂステージ塗膜形成用塗料であって、
（Ａ）活性エネルギー線硬化性樹脂１００質量部；
（Ｂ）光重合開始剤１～２０質量部；及び、
（Ｃ）熱重合開始剤０．００１～１質量部
を含む、上記塗料。
【請求項２】
上記成分（Ａ）活性エネルギー線硬化性樹脂が（Ａ１）ウレタン（メタ）アクリレートを含む、請求項１に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項３】
上記成分（Ａ１）ウレタン（メタ）アクリレートのゲル浸透クロマトグラフィーにより測定した微分分子量分布曲線から求めたポリスチレン換算の数平均分子量（Ｍｎ）が１０００以上である、請求項２に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項４】
上記成分（Ａ１）ウレタン（メタ）アクリレートの有する（メタ）アクリロイル基の数が、ゲル浸透クロマトグラフィーにより測定した微分分子量分布曲線から求めたポリスチレン換算の数平均分子量（Ｍｎ）１０００当たり、２～２０個である、請求項２又は３に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項５】

上記成分（Ａ）活性エネルギー線硬化性樹脂が（Ａ２）メルカプトアルキルグリコールウリル類を含む、請求項１～４の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項６】
上記成分（Ａ）活性エネルギー線硬化性樹脂が、
成分（Ａ１）ウレタン（メタ）アクリレート９９～８０質量％、及び
成分（Ａ２）メルカプトアルキルグリコールウリル類１～２０質量％を含み；
ここで上記成分（Ａ１）ウレタン（メタ）アクリレートの配合量と上記成分（Ａ２）メルカプトアルキルグリコールウリル類の配合量との和は１００質量％である、
請求項１～５の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項７】
上記成分（Ｃ）熱重合開始剤の配合量が０．００１～０．３質量部である、請求項１～６の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項８】
更に（Ｄ）微粒子１０～５００質量部を含む、請求項１～７の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項９】
上記成分（Ｄ）微粒子が、抗菌剤又は抗ウィルス剤として機能する微粒子を含む、請求項８に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項１０】
更に（Ｅ）撥水剤０．０１～７質量部を含む、請求項１～９の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料。
【請求項１１】
請求項１～１０の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料を用いて形成されたＢステージ塗膜。
【請求項１２】
請求項１～１０の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料を用いて形成されたＢステージ塗膜を含むＢステージ塗膜積層フィルム。
【請求項１３】
請求項１～１０の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料を用いて形成されたＢステージ塗膜を完全硬化させた塗膜を有する成形体。
【請求項１４】
Ｂステージ塗膜の製造方法であって、
（１）フィルム基材の少なくとも一方の面の上に、請求項１～１０の何れか１項に記載のＢステージ塗膜形成用塗料を用いて、ウェット塗膜を形成する工程；
（２）上記工程（１）で形成されたウェット塗膜を、温度８０～１６０℃において時間１～２０分処理することにより、乾燥するとともに、Ｂステージ状態に硬化する工程；及び、
（３）上記工程（２）で処理された塗膜の温度を６０℃以下に冷却する工程
を含む、上記製造方法。